

特集

実習記録再考

実習記録と実習展開 学生ファーストの実習記録を考える

船山健二

省察的实践者への架け橋

自ら学びを深めていくための教員のかかわり

山口晴美、岡本朋子、前川幸子

実習記録の電子化 利点と必要な環境整備について

太田雄馬、西村礼子

学びの質を維持し、学生の負荷する工夫 中野 元

臨床判断能力育成に向けて、実習と記録の関係を考える

米国での看護教育をとおして 岩間恵子

看護師の思考に焦点を当てた実習記録 岡部裕美

1年生で行うマネジメント実習

学生の気づきを大切にするために 近藤由美

ストレングスモデルを伝える実習のかかわり 船山健二

巻頭インタビュー

「教室マルトリートメント」を防ぐために 川上康則さん

焦点

看護学生と睡眠……………木村(萱場)桃子

特別記事

対談 看護師が倫理を学ぶということ……………清水哲郎／横田香世

看護学生と政策を考える……………倉岡由美子

連載

看護基礎教育にコーチングを取り入れよう ③ アンラーン (unlearn)

……………佐藤尚治／勝田 譲

臨床で本当に必要な薬のおはなし ③ 貼付剤の効き方……………大井一弥

臨床倫理を映画で学ぼう！ plus ⑨……………浅井 篤

編集後記

私の好きな本に『代替医療解剖』（サイモン・シン他、新潮文庫）があります。そのなかで初代アメリカ大統領ワシントンが、当時は正当な医療と考えられていた瀉血を繰り返して行われた結果、失血死してしまうという話が出てきます。このエピソードからエビデンスにもとづき医療行為を行う大切さを知りました。翻って、看護におけるエビデンスとはなんだろう？ そんな疑問がわき、本特集の取材がスタートしました。本特集がエビデンスにもとづく実践とその教育方法を考えるヒントとなれば幸いです。（野中）

DIPEX-Japanシンポジウム取材し、水野光さんと出会いました。看護師であり患者だからこそ、患者の語りを聴くこと、そして意味づけの難しさを誰よりも実感されている……まさにそう感じます。また、近藤良子先生にご招待され、地元名古屋を仕事で訪れました（高校時代、模試を受けるために何度か渡った千種のK塾ビクトリーブリッジは健在）。帰省するにも実家周辺しか出歩かず、懐かしさのなかに新鮮さのようなものも感じた気がします。多くの方との出会いに感謝し、縁を大切にしていきたいと思っています。（坂元）

久しぶりに担当書籍が刊行されました。三輪建二先生『わかりやすい省察的实践 実践・学び・研究をつなぐために』です。正解を伝えるのではなく、ともに考えることを大切にされている三輪先生らしいようにと考え、編集しました。専門職養成の考え方のエッセンスが込められている……と期待しています。またNEOなどでもセミナーや読書会を開催したいと思います。どうぞよろしく願っています。（NEOについては、弊社ホームページをご覧ください）（番匠）

看護教育 第64巻2号（通巻759号）

2023年4月25日発行（年6回発行）

発行：株式会社医学書院

代表者：金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

販売・PR部 TEL：03-3817-5650

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776

メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp

担当：野中・番匠・坂元・近江

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2023, Printed in Japan

印刷：株式会社双文社印刷

1部定価 2,750円（本体2,500円＋税10%）

2023年年間購読料（送料弊社負担、年6冊）

冊子＋電子版／個人：16,500円

（本体15,000円＋税10%）

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY

〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、info@jcopy.or.jp）の承諾を得てください。

『看護教育』は株式会社医学書院の登録商標です。

BACK NUMBER

バックナンバーのご案内

2023年1号

特集 人生100年時代の看護師の養成 慢性疾患、ヘルスケア、生き方を見ずえる



超高齢社会に突入し、2060年には高齢化率が40%に達するといわれる日本において、各地域の特徴から課題をとらえる目をもち、ヘルスプロモーションを理解した看護師の養成が今後ますます期待されます。また、病をかかえながら生きていく高齢者が増加していくなか、ウェルビーイングをより高めた生き方を支えるために、看護師自身も心を整えていかなければなりません。特集では、これからの看護学に欠かせないピースは何かを探りたいと思います。

2022年6号

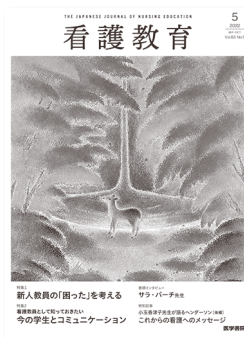
特集 今こそ新人看護師支援を 移行期に教育機関ができること



コロナ禍で実習経験がない、もしくは非常に乏しいまま卒業し就職した学生の抱える困難に対応するべく、さまざまな教育機関が新人看護師に対する移行期支援を始めています。本特集では、それらを紹介しつつ、学生から看護師への移行期に教育機関ができることを考えます。

2022年5号

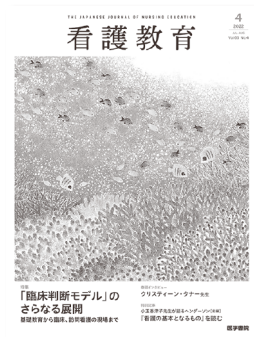
特集1 新入教員の「困った」を考える 特集2 看護教員として知っておきたい 今の学生とコミュニケーション



特集1では、今求められる新人看護教員支援とその展望を、能力開発、教育学それぞれの専門家の視点から解説いただきました。特集2では、今の学生の姿（若者像）を探り、コミュニケーションとは何なのか、看護教員として学生とのコミュニケーションをどうとらえたらよいか、多彩な領域の著者に論述いただきました。

2022年4号

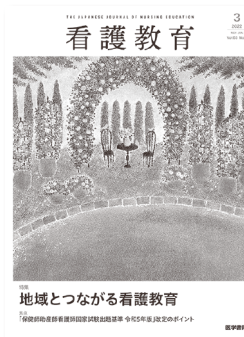
特集 「臨床判断モデル」のさらなる展開 基礎教育から臨床、訪問看護の現場まで



特集では、看護師のその場、そのときの思考に着目した、タナー先生の臨床判断モデルの意義を再確認するとともに、基礎教育や現場でのさまざまな活用事例、また、2022年に新たに示されたモデルの改変ポイントについて解説していただきました。

2022年3号

特集 地域とつながる看護教育



第5次指定規則改定では地域・在宅看護論が新設されるなど、看護基礎教育において、地域の重要性が着目されるようになっていきます。カリキュラム全体を通して、より地域で活躍できる看護師の育成を重視した教育機関の取り組みや、今後広がる実習先についてご紹介いただきました。

バックナンバーご購入 & 年間購読お申し込み方法

- ・最寄りの書店 & 生協にてご注文
- ・ホームページ <https://www.igaku-shoin.co.jp/journal-subscription>
- ・お電話にて TEL : 03-3817-5650 (医学書院 販売・PR 部)

○ 2021年2号 (Vol. 62 No. 2) 以前の号についてのご注文や在庫の照会
は下記へお問い合わせください。
株式会社東亜書局 TEL : 03-5947-4781 FAX : 03-3923-4539
<http://www.toabook.com>